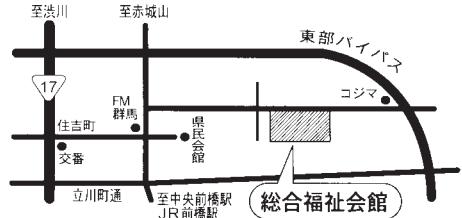


ささえい

No. 32

発行／前橋・在宅ケアネットワークの会
事務局 〒371-0017 前橋市日吉町2丁目17番地10(前橋市総合福祉会館3F)
TEL 027-235-6283 FAX 235-6284
受付時間帯 9:30~12:30
郵便振替口座 00150-2-155119



理事長 斎藤 浩

新年のご挨拶

きいき館」への注目が集まりました。

十一月にはこのアイデアの発表会があり、これに中心商店街の皆さんから熱烈歓迎の意向が寄せられるなど「いき館」構想はたいへん盛り上がりをみせています。

まだ『構想』の段階ですが、会の内外での反響は大きく、責任の重さを痛感した一年でもありました。

現在、福祉関係法が変わり、従来は公費中心に進められてきた施設等の整備は、いまでは補助金はほとんどなくなり、民間資金中心に進められるようになりました。国の財政が厳しいからと福祉を民間や地方に任せる方式になつたいへん積極的な対応を約束して下さいました。以来、「いきいき館」があちこちで話題となり、会員はじめいろいろな方たちからも「うちの部屋を使つて」、「あそこの空き店舗はどうか」、「サロン的なものつくりたい」等々議論百出の一年でした。

昨年は、五月に行われた本会の第八回通常総会に来賓として挨拶された高木市長が、私達の「いきいき館」構想にたいへん積極的な対応を約束して下さいました。

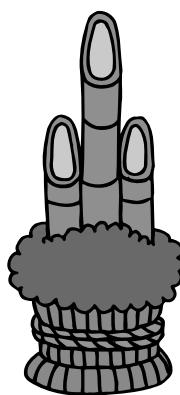
しかし行政がまつたく責任を免れるわけにはゆきません。少子高齢化社会においては、自助、共助、公助の三要素が正しくそれぞれの役目を果たす必要があります。「いきいき館」は、利用者の応分の負担(自助)、NPOによるケア(共助)、市からの公的支援(公助)が揃つて協調することが条件であると

現在、市では「いきいき館」構想をまちづくりのアイデアとしてどう活かすかを検討中です。医療・福祉の充実で町を活性化し、健康で健全な町づくりを積極的に進めてほしいものです。合併や選挙などもあり忙しいことが続きます。今年は市にとつてもたいへん動きの激しい年になりそうです。「いきいき館」構想について市がどんな対応をしてくれるかが楽しみです。

私たちは十年前から高齢者の住みよい町づくりを掲げて活動してきました。本会においては医師、市民ボランティア、介護サービス事業者など幅広い会員が各分野で活躍しています。「いきいき館」の進展にともない、また介護保険の改定が取り沙汰されるにつけて、本会NPOのささえいの活動の大切さが際立っています。

今年も引き続き健康なまちづくりをめざしてご活躍をお願い致します。

本年が皆様によい年になるようお祈り致します。



さえさえ

機能の高齢者施設にする。

「いきいき館」に新しい住民が集い、広瀬川や中心商店街に近く生活することで、新たな文化的影響もでてくるに違いない。「いきいき館」（一号館）では入居者はもとより日中は地域の主婦らが、夜は勤労者や若者が集まり、体力づくりや文化教養のセミナーを活発に行うだろう。かくして広瀬川遊歩道と弁天通り商店街にいつも人が行き交い、賑わいを取り戻し中心商店街全体の活性化も期待できる。さらには「いきいき館」が同じ悩みをもつ地方都市から街の活性化策として注目を集め、全国から視察に来るだろう。（以上）

地元商店街との交流を

概要是前号でも紹介した内容と同じだが、場所を前橋弁天駐車場と特定している。中心商店街で五階建ての建物とそれに付随した駐車スペースが確保できるのは、この弁天駐車場か中央駐車場だけだろう。広瀬川河畔のロケーションを考えればやはり前者ということになるだろう。

本会としても来る一月十七日（月）の理事・運営委員会、二月十四日（月）の例会で経緯を報告、「いきいき館」の実現に向けて、理解と協力をお願いする次第です。例会には多数のご参加をお待ちしております。

にぎわい復活アイデアは三十一人から六十一件の応募があり、このうち、斎藤理事長含む十八人が十一月、にぎわい課のすぐ北にある国際交流広場で

発表を行った。斎藤理事長は、「この案は、市が土地を無償で貸してくれることが前提。それがクリアされれば早期に実現可能だ」と話し、市の協力を強く求めた。

発表後、弁天通り商店街の商店主か

ら、「ぜひともこの案は実現させたい。私どももそのために協力したいし、参加したい」と熱いエールが送られた。

さらに、今後、弁天通り商店街全体の理解と協力を得るため、相互に話し合いをしていくことを約束した。

「いきいき館」については今後ともさらに議論を重ねていく必要はあるが、自助、共助、公助が一体となつた新たなスタイルの高齢者住宅であり、さらには前橋中心街の活性化を課題とする挑戦的なプロジェクトであり、会員の皆様の協力を得て、ぜひとも実現させたいと考えている。

大阪市城東区医師会が昨年行った調査でも、「主治医と連絡がとりにくく感じることがありますか」という問い合わせに七十%（四十人中二十八人）のケアマネジャーが「はい」と答えています。

本会のケアマネジャーからもこうした話がでてきており、この日は電話のかけ方やFAXの送り方、接し方などについて具体的なアドバイスがあり非常にタイムリーで有意義な交流会となりました。

この中で、医師との連絡方法に関する統一ルールをつくってはどうかと

十二月八日、医師部会の医師と本会所属のケアマネジャーとの交流会が開催されました。

十二月八日、医師部会の医師と本会所属のケアマネジャーとの交流会が開催されました。

十二月八日、医師部会の医師と本会所属のケアマネジャーとの交流会が開催されました。

いう意見もありましたが、大きな病院がおり、統一ルールは難しいのではないかということで、今後の検討課題といたしました。

最後に、斎藤理事長が「連絡のとりにくいケースがあれば、私に話してください。私をはじめ、医師部会でも協力は惜しまない」と締めくくり、医師とケアマネジャーとの連携に協力することを約束しました。



▼出席者は斎藤浩理事長と医師部会の幹事、新井和男医師、長崎淳医師、本会所属の五人のケアマネジャーほか

医師とケアマネジャーの交流会を開催

会館跡地に三十人位のヤングオールドが居住する施設を建設するという内容で、一階には本会事務局、クリニック、健康相談室およびレストランを設け、二階には健康増進フロアを、三階から五階に住居スペースつくるというものでした。土地は市より無償で借りる、建築費は約七億～八億円で入居金をもとに捻出するというものでした。

十月二十五日（月）前橋市総合福祉会館で平成十六年度第二回例会が開かれました。

斎藤理事長のあいさつ、出席者の自己紹介があり議事に入りました。

議題①記念誌「十年の歩み」発刊については、今年度を目標に発刊を目指すこと、議題②事務所移動（同会館同階）に伴うボランティア募集については若ネットを中心に日時が決まってから打ち合わせをすることが確認され、議題③「成年後見制度の具体的な事例」は会員の行政書士、木村信行氏から報告がありました。

議題④「いきいき館」構想の新提案については斎藤理事長が概要を説明し、さらに数多くの高齢者施設の設立・運

平成16年度10月例会報告

「いきいき館」構想に活発な議論が展開



- 官のコンサルティングをしてきた山崎憲昭氏から具体的な資料に基づき補足説明がありました。
- その内容は千代田町三丁目の旧勢多会館跡地に三十人位のヤングオールドが居住する施設を建設するという内容で、一階には本会事務局、クリニック、健康相談室およびレストランを設け、二階には健康増進フロアを、三階から五階に住居スペースつくるというものでした。土地は市より無償で借りる、建築費は約七億～八億円で入居金をもとに捻出するというものでした。
- ※内容に関しては今号の「新年のあいさつ」、「賑わい復活アイデア」を参考照してください。
- これに対する出席者からの質問や要望、支持の声が寄せられました。
- 質問や要望、支持の声が寄せられました。
- 意味で「いきいき館」は大賛成。また、現在、自分の自宅兼店舗を高齢者が気軽に立ち寄れるサロン的な場所にしたいと思っているが、一人ではなかなか実現できないのでぜひ協力をお願いしたい。
- ①既存の有料老人ホームや高齢者住宅との違いはどこにあるのか？
- ②市が果たして無償で土地を貸してくれるのか？
- ③建築費を三十人で頭割りすると二千万円以上の入居金になるが、有料老人ホームは過当競争ともいわれ、前橋でも九月に百室の有料老人ホームが、来年三月には七十室の有料老人ホームがオープンする。そんな中で高い入居金を支払って入居する人がいるのかどうか？
- ④本会の本来の役割はボランティア活動であり、今回の「いきいき館」構想は本会の活動とは違うのではないですか？
- ⑤これまで、十人程度の小規模多機能施設を「いきいき館」といつていたが、なぜ、三十人規模になつたのか、これまで議論されてきた小規模多機能施設は「いきいき館」構想からは外れるのか？
- ⑥オリオン通りで書店を開いていたが、何年か前に閉店した。現在もその店舗兼住宅に一人で暮らしている。千代田町には自分と同じような高齢者が何人もいる。高齢者が暮らすにはこの中心商店街は便利だし、昔からの知り合いも多く、最期までここで暮らしたいと考えている。そうした意味で「いきいき館」は大賛成。また、現在、自分の自宅兼店舗を高齢者が気軽に立ち寄れるサロン的な場所にしたいと思っているが、一人ではなかなか実現できないのでぜひ協力をお願いしたい。
- ①に対しても、先ず理念が違う。「いきいき館」は自助・共助・公助が三位一体となつて初めて具体化する。医療・保健・福祉のサービスが集積する場であり、入居者は理念に賛同した人たちで、館の運営に参加し、自分自身の健康管理だけでなく地域住民の健康づくり、介護予防にも一

翼を担う。このような施設は全国に
もない。我が国初の試みといつても
よいだろう。

②に関しては、市の担当者も市民や市
議会の同意を得られれば可能だと話
している。理念が伝われば実現する
構想だ。

③入居金に関しては、居室が増えれば
安くなるし、まだ、いくらになると
も言えないが、これだけソフト面が
充実していて、さらに、公的援助の
もとで運営されているという安心感
を考えれば二千万円を超えて決し
て高くはないし、入居希望者も前橋

市だけで三十人以上はいるだろう。

「高齢者の住みよいまちづくり」の
根幹であり原点であるという位置づ
けは変わりない。ただ、これまで、
ボランティア団体としていろいろな
試みをしてきたが、地区活動以外は
どれも定着していない。市の委託事
業で軽度のボランティア活動も行っ
ているが、この活動もいまだ未成熟
でボランティア行為の需給調整も成
り立たないのが現状だ。活動しよう
としても場がない、場があつてもそ
こに導いてくれる人間がないといつ

た状況が続いている、これを解決す
るのが「いきいき館」で、本会の新
たな活動拠点となる。

④ボランティア活動こそ本会の掲げる
⑤⑥十人程度の小規模多機能施設も引
き続き議論していくが、小規模で採
算をとるのは現状では無理。現在、

事務局も満足な給料も払うことがで
きないという状況なので、まずは会
の経済的安定を確保すること、その
ためには本日提案した三十人規模の
「いきいき館」を一号館として建設
し安定した財政基盤をつくる。二号
館、三号館に関しては各地域の要望
に応じ、既存の建物や空き店舗など

り十年を経て、また新たな時代を担う
ことになる。会員の皆様の知恵と力を
集め『いきいき館』構想を実現させよ
いので、何卒ご協力をお願ひしたい」
と締めくくり閉会となりました。

最後に斎藤理事長が「本会は発足よ
り十年を経て、また新たな時代を担う
ことになる。会員の皆様の知恵と力を
集め『いきいき館』構想を実現させよ
いので、何卒ご協力をお願ひしたい」
と締めくくり閉会となりました。

探し」を中心に、皆さんと話し合いな
がら活動を進めています。

私自身は、ひまわり会の活動と、家
族と住む地域の活動（育成会等）を通
して、「学び」の真つ最中です。

本会との出会いは、私自身の人生後
半戦(!!)をどう過ごそうか…、また両
親

れだけより良く、自分自身”を生き
ていくことができるか！そのことを
みんなで考えていきましょう！」と
いうメッセージを感じたのです。

これからも、本会のいろいろな方

面からの情報や交流を期待してお
ります。

ご投稿を

お待ちしてます

会員の自己紹介、ピーアール、
呼びかけのページです。
(字数四五〇字に写真一枚
でお願いします)

ひまわり会（養護学校等卒業生を支援する会）事務局
五中地区青少年健全育成会



山本工マ

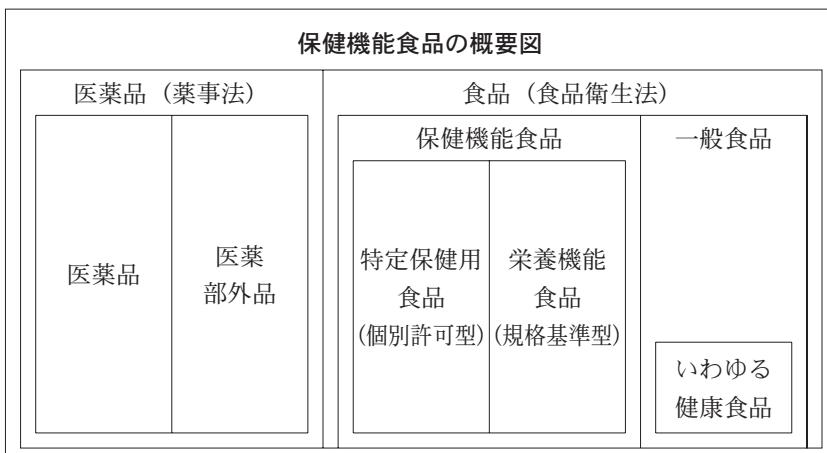
こんにちは。ひまわり会事務局の山
本です。ひまわり会は養護学校等を卒
業された方々を支援しています。平成
十二年にスタートし、現在では「余暇
活動の支援」や「ご本人たちが地域の
中で協働・共生していくための道すじ

や義母とのこれから的生活をお互い良
い形で過ごすにはどうしたらよいのか…
等を考え始めた、ある日の新聞記事で
した。「障害のあるなしを問わず、赤
ちゃん、高齢者など年齢も問わず、人々
が家族や地域とのつながりの中で、ど



東地区 例会報告 サプリメントの現状と活用

社団法人 群馬県栄養士会 副会長
管理栄養士 野口 泰子



最近「サプリメント」という言葉を良く耳にします。サプリメントとは、一体どういうものを指すのでしょうか。左図をご覧ください。二〇〇一年三月、厚生労働省は「保健機能食品制度」を策定しました。私たちが日常、口から摂取するものに、医薬品と食品がありますが、サプリメントは食品と医薬品の中間にあると考えて良いでしょう。

厚生労働大臣が許可したことを示すマーク（通称人形マーク）が付されています。私たちの食生活は年々多様化しています。消費者自らが正しい判断に基づき食品を選択できるよう、適切な情報を提供することは大切なことです。

国ではこのことから一定の規格基準を定め、制度をスタートさせました。現在、四百五十二食品が許可されています。では、特定保健用食品にはどのような種類があるのでしょうか。いくつか紹介しましょう。

- * おなかの調子を整えたい方に適する食品
- * カルシウム不足の方に適する食品
- * コレスステロールが気になる方に適する食品
- * 血圧が高めの方に適する食品
- * 貧血が気になる方に適する食品
- * むし歯が気になる方に適する食品
- * 血糖値が気になる方に適する食品
- * からだに脂肪がつきにくい食品等です。

日本におけるサプリメントの現状

特定保健用食品とは、健康増進法第二

六条第一項に基づき特別用途食品の中に位置付けられており、



特定保健用食品

親子・兄弟の心でサービスを提供いたします



グループプリビング岩神は、基本的には家庭です。家族としてスタッフが24時間接しながら安らぎと楽しみのある雰囲気でケアします。

入居申込み受付中

高齢者共同生活住宅 グループプリビング岩神

前橋市岩神町3丁目1-10 TEL&FAX 027-237-5366

ささえあい

しかし食品の成分には目的以外のものが含まれていることもあります。含まれている成分を充分に把握するなど、利⽤に関する知識が必要となります。

また、その表示方法にも規定があり、医薬品と誤解されないようにするため、疾病的診断・治療・予防等に関する表現は認められていません。

例〔認められている表示〕

* 血糖値を正常に保つことを助ける食品です

* 血糖値の改善が期待できる食品です

例〔認められない表示〕

* 老化防止に役立つ食品です
* 高血压を改善する食品です

栄養機能食品

栄養機能食品とは、高齢化・食生活の乱れ等により通常の食生活を行うことが困難な場合に、不足しがちな栄養成分の補給を目的としたものです。

現在は栄養所要量が設定されているビタミン、ミネラルですが、今後ハーブ類やたんぱく質、脂肪酸等も検討されていくことでしょう。

また、過剰摂取による健康障害を予防するため、許容上限摂取量が定められています。

現在認定されている栄養機能食品は十二種類のビタミンと五種類のミネラ

ルが素材として使われている食品です。

いわゆる健康食品

現在の日本には、いわゆる健康食品を規定する法律はありません。しかし、一般的には保健・健康増進などの目的を持つていて、錠型、カプセル、粉末状の形状をしているものを指しています。

一方、一九八五年、厚生省の指導のもとに設立された（財）日本健康・栄養食品協会が独自の規格基準を設け、JHF Aマークを認定マークとしているものもあります。

いずれにしても法的認定がないので、

表示を十分に検討し、内容が明確でない場合は、控えるのが賢明かと思いま

JHF Aマークを認定マークとしているものもあります。

いすれにしても法的認定がないので、表示を十分に検討し、内容が明確でない場合は、控えるのが賢明かと思いま

す。

サプリメントの活用

食生活の中のサプリメント

私たちは毎日三回食事をとっていますが、その目的は何でしょうか。

①空腹を満たすため（必要な栄養素の摂取）

②コミュニケーション（地域に伝えら

れます）

この日の例会はこの講演後、滝沢康之医師に医療トピックスとして「糖尿病の合併症」について解説していただきました。（本間正三郎）

国立長寿医療センター研究所の調査によりますと、男性の五〇・六%、女性の六二・二%が活用しているようです。年をとると食も細くなり、充分な食事ができない時はサプリメントの活用も一つの方法だと思います。が、それ

ぞれの有効性・健康被害の危険性などを充分に検討して活用しましょう。

自立して生活ができる高齢者には食事がより美味しく食べられるよう、何

らかの介入が大切と思います。

また、寝つきで低栄養や褥瘡がある場合は、効果が期待できることも多いでしょう。

サプリメントの正しい活用法

まずは食生活を改善しましょう。

- ② サプリメントを利用する時は、表示を良くみて確認しましょう。
- ③ 成分を良く知り、とり過ぎ、相互作用に注意。たくさんとつても効果が大きくなることはありません。
- ④ 正しい情報を手に入れましょう。親しい友人の紹介でも良く確認しましょう。

機械警備
ホームセキュリティ
<http://www.g-alsok.co.jp>

施設警備
警備輸送

十月二十七日 於 東公民館

おまかせ下さい防犯・防災

群馬綜合ガードシステム(株)

代表取締役 川崎 弘

☎ 027-252-5454(代) FAX 027-251-8388

本社 〒371-0854 前橋市大渡町二丁目1番地の5

台風二十三号が各地に爪痕を残して、過ぎ去つたばかりの十月二十一日(木)、十月度の定例会と親睦を兼ねて、研修旅行(日帰り)に行つて参りました。目指すは吾妻郡の六合村温泉医療センター(折茂賢一郎センター長)での施設見学でした。

素晴らしい自然環境の中にありました。建物に入ると外来スペースがあり、動線が分かりやすく、スムーズに行動出来るように気配りされてありました。X線や、電子内視鏡まで、設備面が整い人間ドックの対応も出来、一泊も日帰りも自由で五室と病床数十四という

台風二十三号が各地に爪痕を残して、過ぎ去つたばかりの十月二十一日(木)、十月度の定例会と親睦を兼ねて、研修旅行(日帰り)に行つて参りました。目指すは吾妻郡の六合村温泉医療センター(折茂賢一郎センター長)での施設見学でした。

六度Cのお湯をそれぞれ水で適温にして利用しているとの事でした。浴室から自然の景観が一望でき、村外の者でも一回四百円で使用出来るそうです。

二階のパブリック・スペースは、通所者、入所者の皆さんが最も長い時間過ごすエリアで、外に出られなくて高齢者介護、在宅介護、福祉にと、きめ細かな対応にスタッフ一同がチームワークをとり包括ケアを推進していくことで、安心を築いていくこうとしているのだそうです。

住民二千人弱の人口の内、高齢者約三〇%という地域で、以前には通つてくるのが前提の医療や福祉から、訪問看護、訪問栄養指導、訪問薬剤指導に、携わっているとのことでした。更に住いや、暖をとるための給油作業も困難な高齢者、弱者十名程の入所者があるそうです。

東部地区 例会報告

六合温泉医療センター 施設見学

枝 菊 水 清

ことです。

フィットネス・ゾーンでは、リハビリや健康増進に役立っているそうです。

尚、お風呂やジャグジー、サウナ、プールに至るまで尻焼き温泉より引湯五十



乗る方に応じた使いやすさと優しい配慮で、豊富な車種とバリエーションをご用意しております。



写真はボルテ
ウエルキャブBタイプ

幸せを広げる群馬トヨペットの福祉車両

お客様とのふれあいを大切にする
群馬トヨペット

本社/〒371-0841前橋市石倉町2-6-5
Tel.027-251-5111(大代表)

<http://www.toyota.co.jp/p-gunma/>

往復のバスのなかでは、今回中心になつて計画を立てて下さった深代義久さん作詞のボケない小唄を歌つたり、様々な分野のガイドに感嘆する事しきり。「うわっ、きれい」の歓声は、移ろいの秋の渓谷の紅葉が一際美しく輝いていたからでした。

護、訪問栄養指導、訪問薬剤指導に、注いでいるそうです。今後の課題でもあるとも聞きました。「小さな村の大好きな安心」パンフレットの表紙の文字に暖かさを感じたのは、私だけではなかつたと思います。

来て家族からよろこばれているとの事、また十一月より四月までの間、雪掻きや、暖をとるための給油作業も困難な高齢者、弱者十名程の入所者があるそうです。

携わっているとのことでした。更に住民意識の高まりから予防医療にも力を高めています。今後の課題でもあるとも聞きました。「小さな村の大好きな安心」パンフレットの表紙の文字に暖かさを感じたのは、私だけではなかつたと思います。

古市いこいの家だより

りんご狩での 触れ合い

勇子金

十一月二日、昨日までぐずつき気味の肌寒い天候が、抜ける様な晴天に恵まれりんご狩りに最適な日和でした。私たち古市いこいの家会員十七名は、通常の利用拠点 古市町公民館に集合、前橋市社会福祉協議会の高橋運転技師の運転する大型バスに乗車、車椅子やビニールシートの敷物等も積み込み、定刻の九時三〇分に出発しました。

福島りんご園（渋川市祖母島）を目指して進行、途中、上州物産館で小休止しました。小用する人、たばこを味わう人、大根、白菜等台風後の高値の時、割安地元野菜を買う人等、有意義な時を経た後、渋川スカイランドパーク前を通過。この辺りは、道路の両側にあ



ご主人は、お出かけで留守とのことで二人のお嬢さんが出迎えてくれました。

子を押すボランティアさんは、手慣れ操作で設営場所へ連れていきました。

く葉っぱの紅葉に感嘆しつつ、時代屋の看板を左折すると、福島りんご園入口で奥さんがお待ちかね、反対側にできた道路脇の駐車場まで同乗して案内してくれました。駐車場からは、高齢者で車椅子に乗る人がいて、その車椅子を

の紅葉がすばらしく、花のみでなく葉っぱの紅葉に感嘆しつつ、時代屋の看板を左折すると、福島りんご園入口で奥さんがお待ちかね、反対側にできた道路脇の駐車場まで同乗して案内してくれました。駐車場からは、高齢者で車椅子に乗る人がいて、その車椅子を

りの指導と応援をしてもらい、和気あいのうちにりんご狩りができました。

コーヒーで乾杯の後、コンテナの上にコンパネを載せたテーブルに、大根の煮物、きび入りの赤飯おにぎり等が所狭しと並べられていました。奥さん自作自慢の材料で心暖まる手作り料理をご馳走になり皆大喜びです。

会員相互の融和と前橋在宅ケアネットワークの会東地区会長を始め会員の皆様の甚だなご支援と前橋市社会福祉協議会のバス利用制度など物心にわたるご支援があつたればこそと感謝申しあげます。

今後共ご支援ご指導の程をお願いしてご報告と御礼を申し上げます。



経つのも忘れがちですが、集合写真を撮り引き上げることにしました。

帰路は渋川スカイランドパークに入

りの紅葉がすばらしく、花のみでなく葉っぱの紅葉に感嘆しつつ、時代屋の看板を左折すると、福島りんご園入口で奥さんがお待ちかね、反対側にできた道路脇の駐車場まで同乗して案内してくれました。駐車場からは、高齢者で車椅子に乗る人がいて、その車椅子を

の紅葉がすばらしく、花のみでなく葉っぱの紅葉に感嘆しつつ、時代屋の看板を左折すると、福島りんご園入口で奥さんがお待ちかね、反対側にできた道路脇の駐車場まで同乗して案内してくれました。駐車場からは、高齢者で車椅子に乗る人がいて、その車椅子を

りの指導と応援をしてもらい、和気あいのうちにりんご狩りができました。

コーヒーで乾杯の後、コンテナの上にコンパネを載せたテーブルに、大根の煮物、きび入りの赤飯おにぎり等が所狭しと並べられていました。奥さん自作自慢の材料で心暖まる手作り料理をご馳走になり皆大喜びです。

会員相互の融和と前橋在宅ケアネットワークの会東地区会長を始め会員の皆様の甚だなご支援と前橋市社会福祉協議会のバス利用制度など物心にわたるご支援があつたればこそと感謝申しあげます。

今後共ご支援ご指導の程をお願いしてご報告と御礼を申し上げます。

経つのも忘れがちですが、集合写真を撮り引き上げることにしました。

帰路は渋川スカイランドパークに入



写真①



写真②



写真③

前号で上小出地区の今年度の活動報告と年間計画について紹介しましたが、今日はその様子を写真でお伝えします。樹木の手入れの利用が多い年でした。

上小出町地区活動報告

利用が多かった 通院送迎と庭木の手入れ

上小出ささえいネットワークの会
会長 小保方 正作

最初の写真は高齢世帯であるAさん宅の庭木の手入れと除草です。Aさん宅の玄関から庭を撮った写真です。ご覧の通り、樹木が生い茂り、五人で丸一日かかりました。かなりの仕事量でした（写真①）。

次の写真はTさん宅の樹木剪定を終え、日向の縁側でTさんと談笑するスナップです（写真②）。Tさんは上小出ささえいネットワークの設立準備委員会を立ち上げた仲間ですが、それから今年で八年目を迎え、設立メンバーだつたTさんも高齢となり、会のサービスの利用者となりました。

会員の高齢化が進む中、庭や樹木の手入れだけでなく、愛犬の散歩といったサービスの希望もあり、すべてに応じました。

最後の写真は、十月二十日の定期会です（写真③）。

前橋・在宅ケアネットワークの会の清水秀夫理事にお願いし『今、老人施設は』というテーマでお話していただきました。三十年余にわたって高齢者福祉の仕事にたずさわってきた清水さんの話は非常に感動的でした。

特に特養ホームでの体験や介護の現状、今後の取り組みなど興味深い話をたくさんしていただき、大変参考になりました。

最初の写真は高齢世帯であるAさん

宅の庭木の手入れと除草です。Aさん宅の玄関から庭を撮った写真です。ご覧の通り、樹木が生い茂り、五人で丸一日かかりました。かなりの仕事量でした（写真①）。

次の写真はTさん宅の樹木剪定を終え、日向の縁側でTさんと談笑するスナップです（写真②）。Tさんは上小出ささえいネットワークの設立準備委員会を立ち上げた仲間ですが、それから今年で八年目を迎え、設立メンバーだつたTさんも高齢となり、会のサービスの利用者となりました。

会員の高齢化が進む中、庭や樹木の手入れだけでなく、愛犬の散歩といったサービスの希望もあり、すべてに応じました。

特に特養ホームでの体験や介護の現状、今後の取り組みなど興味深い話をたくさんしていただき、大変参考になりました。

東前橋整形外科

院長 釜谷 邦夫

診療科目

一般整形外科・ペインクリニック
スポーツリハビリテーション外来
居宅介護支援センター「やまぶき」
通所リハビリテーションセンター「やまぶき」

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	/
PM 3:00~ 6:00	●	●	●	/	●	●	/

〒379-2104 前橋市西大室町1317-3
TEL 027-268-5777 FAX 027-268-5778

もっと、クスリにできること。

 Yamanouchi

山之内製薬株式会社

〒103-8411 東京都中央区日本橋本町2-3-11
TEL.03-3244-3000

私たちちは「前橋・在宅ケアネットワークの会」をささえています。
医療を通じ すみやすい まちづくり

相原 医院

院長 相原 健次郎

診療科目 内科・小児科

〒371-0846 前橋市元総社町1-1-9

TEL 027-251-2815

赤沢耳鼻咽喉科

院長 赤沢 達之

診療科目 耳鼻咽喉科

〒371-0023 前橋市城東町5-11-5

TEL 027-232-6568

岩内整形外科医院

院長 岩内 省三

診療科目 整形外科

〒371-0023 前橋市本町3-1-24

TEL 027-224-5265

大塚外科胃腸科医院

院長 大塚 浩之

診療科目 外科・胃腸科

〒371-0847 前橋市大友町3-23-4

TEL 027-252-6006 FAX 027-252-6007

コスモス内科皮膚科

院長 佐藤 香

診療科目 内科・皮膚科

〒371-0801 前橋市文京町2-10-26

TEL 027-223-2602

斎藤内科泌尿器科医院

院長 斎藤 浩

副院長 斎藤 浩樹

〒371-0037 前橋市上小出町2-42-5

TEL 027-231-1069

塩野内科クリニック

院長 塩野 悟

診療科目 内科・消化器科

〒371-0805 前橋市南町2-18-7

TEL 027-223-8722

田中 医院

院長 田中 義

〒371-0022 前橋市千代田町1-5-5

TEL 027-231-2443

塚田 医院

院長 塚田 穣

診療科目 内科・胃腸科

〒371-0805 前橋市南町3-64-13

TEL 027-221-3155

長崎 医院

院長 長崎 淳

診療科目 外科・内科

〒371-0021 前橋市住吉町2-12-5

TEL 027-231-3274

早川 医院

院長 早川 真一

診療科目 内科・小児科

〒371-0801 前橋市文京町1-46-6

TEL 027-221-6324 FAX 027-243-1268

八木 医院

院長 八木 茂

診療科目 内科・胃腸科

〒371-0835 前橋市前箱田町115-1

TEL 027-253-6588 FAX 027-253-5422

山下 医院

院長 山下 由起子

診療科目 消化器科・外科

〒371-0016 前橋市城東町4-11-17

TEL 027-231-3726

山本整形外科医院

院長 山本 竜一

診療科目 整形外科・形成外科・リハビリテーション科

〒371-0023 前橋市西片貝町1-200

TEL 027-232-3069

湯浅歯科医院

院長 湯浅 高行

診療科目 歯科

〒371-0024 前橋市荒牧町504

TEL 027-232-4184

西片貝クリニック

院長 若松 良二

診療科目 内科・呼吸器科・循環器科

〒371-0023 前橋市西片貝町3-292

TEL 027-229-6533

訪問看護ステーション西片貝 TEL 027-223-6557

「かかりつけ医」として健康と介護の相談に応じます

国道17号の荒牧交差点を東に、桃川小学校の前を行くと、町名となつた真言宗『日輪寺』がある。立派な山門を入ると、約三千平方メートルの広い境内に、本堂・観音堂・庫裏などが静かに建つている。



▲日輪寺山門

前橋には、心のふること、由緒あるお寺が多いので紹介します。

藤澤 慧

日 輪 寺

前橋百寺巡礼 其の一



▲日輪寺観音堂

平安時代に空海の弟子快良が観音堂を建て、実惠が八一四年に七堂伽藍を整え、開山したのが始まりという。

本尊は不動明王であるが、観音堂の本尊、十一面觀音は、柱一本造の鉢彫で、県の重文となつており、藤原時代の秀作である。觀音と並んでいた運慶の作といわれる「馬鳴菩薩」があり、

馬病平癒を願つて、元禄時代から絵馬が奉納され、多数の参拝者で賑つたといふ。県内最古の鉢彫觀音は、一月十日間に開帳されるので、どうか皆さんも拝観に出かけてください。

私たち文化づくりをお手伝いいたします。

創業以来、自治体・行政のPR、年史・社史の編纂、生活情報誌「月刊ぶらざ」の発刊と群馬県内の「文化」の一端を担つてまいりました。最近においては、「自分史」の出版などマスからパーソナルまで幅広く「文化づくり」をお手伝いしております。



■営業品目

- カタログ
- 営業案内
- 会社案内
- ポスター
- ダイレクトメール
- コンピュータ用帳票
- 文集
- 名簿
- チラシ
- 伝票
- その他 印刷全般

生活情報誌
月刊
ぶらざ



カラー印刷と出版の
上毎印刷工業株式会社

取締役社長 小口高秀

〒379-2154 前橋市天川大島町305-1
TEL.027-224-6245 FAX.027-224-6290
E-mail:jomai@ceres.ocn.ne.jp